

【えびの市立真幸中学校】

事業の実施時期：補助を受けた日から 令和6年3月1日

活動の概要

- SDGs や4R 活動に対しての知識や理解を深める取組
- 生徒会による4R 活動の実施
- 地域内の清掃活動の実施
- PTA と連携した4R 活動の推進に関わる学習会の実施

SDGs の視点：「11 住み続けられる町づくりを」「12 つくる責任 使う責任」
「15 自然の豊かさを守ろう」

1 学校の概要

本校は、熊本県、鹿児島県との県境にある「えびの市」の西部に位置する全校生徒92名の学校である。豊かな自然に恵まれた京町温泉郷の中心地に位置し、校区内には、数多くの温泉施設がある。また、美しい霧島の山々、矢岳高原や川内川など、豊かな環境資源に恵まれた学校である。

本校では、これまで環境教育に関する取組を、えびの学（総合的な学習の時間）や学級活動等で行ってきた。また、生徒会によるリサイクル運動への取組を行っている。

今年度は、職員・生徒共に「現状維持は後退！」を合い言葉とし、教育活動に取り組んでいる。

2 活動のねらい

- ① 生徒一人一人がSDGs や4R 活動に対しての意識を高め、日常生活における具体的な実践を行うことができる。
- ② 学校での教育活動を、SDGs や4R 活動の視点からブラッシュアップする。
- ③ 保護者に対しての意識化を図ることで、家庭と連携した日常的な4R 活動を実践する。

3 活動内容

(1) SDGs や4R 活動に対しての知識や理解を深める取組

① 外部講師による講演会の実施

昨年度までの本校の教育活動を振り返ると、SDGs や4R 活動に関連する取組はたくさんあったが、理論的な面での学びは乏しく、それを生徒に意識させて取り組ませるとさらに効果が上がるのではないかという課題があった。そこで、県内のSDGs 啓発の第一人者でもある「株式会社 シンク・オブ・アザーズ代表 難波裕扶子様」を迎えて講演会を開催した。SDGs ということばは聞いたことがあるが、詳しくは知らないという本校の生徒たちに対して、基本的なことから分かりやすく説明していただき、生徒の理解が深まった。



② 学校図書館における書物の充実

図書館に「SDGsコーナー」を設け、本事業に関連する書物を生徒がいつでも手に取れるようにした。また、新しい書物も購入している。



(2) 生徒会による4R活動の実施

① リサイクル活動

生徒会が中心となり、ペットボトルのキャップとインクカートリッジを回収する活動を行った。



ペットボトルのキャップは「エコキャップ運動」に取り組む社会福祉協議会に、インクカートリッジは「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」の一環として郵便局に届け、再利用を図った。

生徒会役員は、校内放送で趣旨を説明した上で、生徒が登校する前に登校し、生徒玄関で回収協力の呼びかけを行った。その甲斐もあり、たくさんのキャップやインクカートリッジが集まった。

② 腐葉土づくり

本校は校内に樹木が多く、秋になると落ち葉の片付けに悩まされていた。そこで、その解決の手立てとして、コンポストを購入し、腐葉土づくりに取り組んだ。秋風の冷たい中、生徒たちが落ち葉を集め、コンポストに入れてくれた。初めての取組で腐葉土が作れるかは分からないが、生徒たちにとって、4R活動に対しての意識が高まったと考えている。



(3) 地域内の清掃活動の実施

真幸地区では、毎年2月の第1土・日曜日に「京町二日市」が行われている。そこで、終了直後の月曜日に、「京町二日市クリーン作戦」を行っている。これは、全校生徒が参加して、会場周辺の清掃活動に取り組む学校行事である。今年度は、これまで以上に「分別」を意識させ活動を行う予定であったが、天候不良とインフルエンザ流行のため中止とした。

(4) P T Aと連携した4R活動の推進に

関わる学習会の実施

本事業の推進を行う上で、家庭の理解や協力は欠かせない。そこで、

6月に開催した家庭教育学級で、学習会を実施した。講師は、県庁出前講座に登録している宮崎県庁環境森林部循環社会推進課に依頼し、「ゴミの減量化・4Rの推進について」という内容の講座を行った。ゴミの減量化や4Rの推進について、県や市の実態や今後の取組等について詳しく学べた。



4 成果と課題

【成果】

- ・ 講演会などを通して生徒や保護者に「循環型社会を実現する環境教育」への理解を深めたことで、活動に対して「何のために行うのか」という課題意識が高まった。

【課題】

- ・ 生徒がアイデアを出しながら主体的に取り組めるような活動にしていく。
- ・ 期間限定ではなく、日常的に取り組める持続可能な活動にしていく。

学校名	えびの市立真幸中学校
住所	えびの市大字向江850番地
電話番号	0984-37-1150
E-mail	4432j_b@miyazaki-c.ed.jp